

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズ/NO 164号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期23年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4600日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は293名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



二年越しの地元の陳情・公園の階段の改善が実現した

私の住む地元自治会（東都自治会）の自治会役員の方から一昨年、東都自治会内のどんぐり公園の入り口の階段の幅が狭く、転びやすいので改善をして欲しいとの陳情を受けていた。

この陳情は東都自治会名で、越谷市に陳情書を提出していたが、一向に改善の措置が採られていない。既に同様の陳情をした時は、手すりを設置してもらった。しかしこの公園は、毎日毎朝、ラジオ体操のため多くの高齢者を中心に利用しているが、この手すりの足元の二段ほどの階段の幅が狭く（小さな幅の石積みの形態）、靴が一部しか載せられないため、転んでしまう危険性がある、との事。

そのため、再び陳情していたが長らく実現し

ていないので、私からも状況を確認して欲しいとの要請を受けて担当の公園緑地課長に内容の確認と改善をお願いしていた。

しかし、それでも状況が進まないため、令和8年度予算が成立したこともあり、再度3月初旬に要請していた。その結果、公園緑地課長から本年3月中か4月上旬には対応します、との返事を頂いた。工事が3月中旬に始まり3月21日には工事が終了して、幅が広いコンクリートで固めた階段が設置された。

（3月21日・土曜日）



明正小学校の卒業式パンフ・139名の卒業生の「20年後の私」時代の反映か？

令和7年度第47回越谷市立明正小学校の卒業証明書授与式に議長代理として挨拶をした。参加者に配布された明正小学校PTA広報委員会が作成した卒業生の6年間を記録したパンフの中の「20年後の私」のコーナーに卒業生全員が自筆で書き込みがあった。これまでも看護師、体育の先生、プログラマーやペットショップ、ユーチューバー、プロのスポーツ選手等が散見されていたが、このパンフには大企業やIT企業の「正社員」になる、との記載が。全労働者の4割が非正規雇用となっている現実には子どもたちの将来像に間違いなく反映している。また、3月13日の北陽中学校の卒業式に参加して式典終了後来賓控室で、校長先生のお礼のあいさつがあった。本校の中学卒業生が公立高等学校への進学希望が6割を切っており、他は通信制高校への進学を希望しており、これまでにない状況にある。まだ最終的には決定していないが高校授業料の無償化の影響だろうと、話された。更に不登校生徒が10人いて、(因みに明正小学校は5人)この卒業生の卒業式は午後から開催する、とのことだった。

3月市議会で、代表質問の中で50分間も費やした教育長への質問「何故不登校生徒が毎年700人もの高止まりか」の現場がここにある。

（3月24日・火曜日）

水道事業・政府が進める民営化方針を 採用しない、と企業長が明言

今朝の駅立ちは、越谷駅西口で実施したが、自宅を出て駅到着、街宣用具の設置して、駅周辺の清掃作業を終えて、3月越谷市議会の報告や市政レポートを配布した。午前8時30分過ぎに終了してすぐに、越谷・松伏水道企業団3月議会が午前10時から開催されたため真っすぐに企業団に向かった。

水道議会では企業長から令和8年度水道事業経営方針の発言や令和8年度会計予算が提案され、全会一致で可決した。

同時に水道事業マスタープラン2026（令和8年度から令和17年度までの10年計画）も制定された。私は会計予算77億円余に対して本会場で企業長に質疑をした。

質疑のポイントは、政府が全国の水道事業を対象に推進しているウォーターPPP（官民連携）への受け止め方を視点に①外部委託の拡大は、国のPPP政策でどのように位置づけ、将来的なPPP導入を見据えたものか。②令和8年度予算の財政状況を踏まえPPPを検討しない場合、財政悪化をどの様な手法で補うのか。③令和8年度の人件費増加と人材不足を踏まえPPPを検討しない理由は何か。④人材確保。技能継承を企業団単独で維持できる根拠は何か。

このPPPは、財政悪化や料金引き上げや管路更新の財政負担の増加、技術職員の不足の解消のため、出来る限り民間委託を推進し、さらに経営自体を完全民営化することまで想定している。確かに小規模自治体では人口が減少していく時代に設備の更新に多額の費用を必要としているが、料金収入による単独経営が極めて困難になっているのは事実だろう。

そのために県が全県の小規模自治体への支援策が必要とされているが、それは民間委託では解決しない。すでにフランスでは水道事業を全面的に民営化した結果、料金が逆に引き上がり、またサービスも低下したことから、再度公営化に戻す「再公営化」が採られている。

この様な経験値からも、答弁では企業長からウォーターPPPは検討しないし、民営化の方向にはない、と明言された。これは大変有意義な答弁ではあったが、依然として財政・人材・更新投資の三つの課題が同時に顕在化している事が令和8年度の予算が示している。今後PPP以外の選択肢である広域化・共同化・人材育成・

更新平準化が大きな問題である事態にどう向き合っていくのか問われている。

（3月30日・月曜日）

いじめ問題を市議会全体の最優先課題に・市民運動の当事者が議会に立候補しては？

今朝の駅立ちは北越谷駅東口だったので、何時ものように午前4時過ぎに起床して身支度の後午前5時40分に駅に到着した。街宣用具の設置、駅周辺の清掃作業の後市政レポートの配布を始め、午前8時30分過ぎに終了した。

街宣用具等を片付けていたら30代後半（そのように見えたが）の男性から声を掛けられた。

先般石川たかみ議員と話したが、と冒頭に話を始められたので、えー石川さんは議員ではないですよ、と。するとほーそうですか。あなたは市議会議員ですよ。だったらピンクシャツ運動を知っているでしょう、と。（ピンクシャツ運動“ピンクシャツデー”は、カナダ発祥の「いじめ反対」を訴える国際的な草の根運動。毎年2月の最終水曜日を中心に、ピンク色の服や小物を身につけ、いじめ撲滅と「傍観者にならない」という意思表示をしめす。誰でも参加可能で、世界180以上の国・地域に広がっている。）はい概要は知っていますが、と応答したら議員と市職員の全員がピンク色のTシャツを着用して本会議に臨む「ピンクシャツDAY議会」を開催した八尾市議会の様に越谷市議会では出来ないのか、と質問された。

そうですね、いじめ問題が子どもたちにとって極めて深刻な状況だと受け止めています、まだ議会全体で統一的には取り組んでいません、と。すると何故取り組まないのか、と再度少し強く質問された。はい、現在越谷市議は31名いますが、それぞれの議員はそれぞれの関心事項があり、更に全く立場や政策や政党が異なっているため現状ではそうなりません、と返事。すると自分は相当大的な市民団体がバックにいると、話されたので、それでは最も問題意識の高いあなたが、来年4月の市議選挙で当選するのが一番の早道です。ぜひ応援しますから、あなたの名前を教えてください、と何度もお願いした。するとそれはいいと繰り返されたので、せめて団体名だけでも教えてください、と再三聞いたが教えてもらえない。つまり一切のリスクを負わず、議員に自己主張するだけの市民が増えている。（3月31日・火曜日）